

和歌山病院での実習を終えて



永井 隆寛

1月22日～1月23日の2日間にかけて、呼吸器内科の臨床実習の一環として、和歌山病院にてお世話になりました。

駿田副院長の結核についてのセミナーでは、結核の感染様式について詳しく教えていただき、感染予防策についての理解が深まりました。また、大学病院にはない結核病棟を見学させていただき、結核治療の現場を見ることができました。

南方院長の胸部レントゲンに関するセミナーでは、レントゲンの基本的な写り方から教えていただき、胸部レントゲンでは何が写るか、またそれぞれがどう見えるかについての理解がとても深まりました。今まで自分が、胸部レントゲンをいかに感覚で読んでいたかを思い知りました。また、南方先生には、肺区域についてもレクチャーしていただき、肺の立体構造やそれを胸部レントゲンの読影にどう生かすかも教えていただきました。セミナーを終えてこれから先、より積極的に胸部レントゲンを読み、さらに読影ができるようになりたいと思いました。

川邊先生には問診の取り方や鑑別診断について演習形式で教えていただきました。大学でのセミナーではあまりない形式で積極的に取り組める楽しいセミナーでした。

また、私は、和歌山県民ではありますが御坊市は訪れたことがなく、今回の実習で御坊の街並みや歴史について一部分ではありますが、知ることができて勉強以外の意味でも非常に有意義でした。

今回の実習では、先生方や臨床工学技士の方からセミナーをしていただいただけでなく、病院から駅まで車で送迎していただいたり、宿舎の準備をしていただいたりと和歌山病院の職員の皆さまには大変お世話になりました。心から厚く御礼を申し上げます。